



カレッジ college news だより

2003 March.
vol.

3

道民カレッジ博士第1号誕生

平成15年2月24日、札幌市で開催したスクーリング会場で博士の認定証授与式が行われ、道民カレッジ博士第1号が誕生しました。博士の称号を取得したのは、札幌市在住の池本隆一さん（73歳）です。池本さんは、平成13年9月の道民カレッジ開講から熱心に学習され、札幌市で開催されている講座を受講するばかりでなく、札幌市以外にも出かけて受講するなど、日々の学習意欲は旺盛で、すでに道民カレッジ学士、道民カレッジ修士を取得され、今回、道民カレッジ博士の称号を取得されました。



池本さんは、「勉強というものは、食べ物と一緒に好き嫌いせずに学んでみるという姿勢が大事だ。」と話され、これからも学習し続けていく意欲を語っていました。

『道民カレッジと私』

札幌市 池本隆一



平成13年7月に退職した50年間のサラリーマン生活の延長に、9月から始まる道民カレッジにおいて、途中で挫折することは絶対しないと決め、カレンダーにガイドブックから選択可能な講座はすべて拾いました。結局、少ない月で10日、多い月は20日程度の予定となりました。幸い私は札幌在住のため、札幌周辺の市町村にも計7か所出向きました。2泊3日の講座が5回、1泊2日が2回あり、札幌圏にある21の大学と6つの短大のうち、7つの大学と6つの短大で受講しました。昨年11月末に称号申請したのですが、その頃には、430単位でしたし、現在は500単位のあたりを走っております。

本来、学問をするにはお金がかかるものですが、道民カレッジは道や大学などが無料か低額の負担で、「人生80年にしてなお自分を高め、地域社会への貢献を目指す」ことができるよう生涯学習を支援してくれます。私はその趣旨を尊重して、今後とも学習に励みたいと存じます。

道民カレッジへの受講生からのご意見

道民カレッジについて多くの受講生からご意見が届いておりますので、事務局の回答と合わせてご紹介させていただきます。

○ ガイドブックをもっと早い時期に出してください。

* 年2回（4月・10月）ガイドブックを発行しておりますが、印刷や編集・発送作業などの関係で締切から発行までに1ヶ月くらいの日数がかかってしまいます。また、連携講座先の講座内容が直前まで決まらない場合もございますので、発行時期が前期・後期の直前になってしまうことをご理解願います。

○ 大学放送講座2年目の6講座、内容も大変充実していました。「学び」に偏りがありませんから、「専門」を持たない自由さを改めて認識する楽しさです。

○ 早朝5時からの放送講座の受講は少し大変でしたが、約50年振りに学生気分を味わうことができました。今まであまり関心のなかった遺跡保護や水辺林など視野を広げることができたことを感謝しています。

* 平成15年度も秋以降に大学放送講座を放送する予定です。日程・内容等が決まり次第、パンフレットを作成しお知らせいたします。また、「大学放送講座」のビデオテープをかでの2・7の9階にあります「まなびの広場」で視聴することができますのでご利用ください。

○ 自分が居住する近くの場所での講座が少ないのが残念です。

○ 地方で道民カレッジを修了することは大変です。多くの講座を企画していただけることを希望します。

○ 受講したい講座があっても、遠い地方で行われる講座には出席できないのが残念です。

○ 連携講座の協力大学、自治体、団体等をより充実強化してほしい。

○ 市町村の連携講座が少なすぎる。地区別に分校的な基幹講座を開催（市町村の広域連携）したらどうか。

* 連携講座の半数以上が石狩管内に集まっているのが現状です。事務局では、全道212市町村の教育委員会などに連携講座申請の依頼をしているところです。皆様方のお住まいの地域で連携講座に適した講座がございましたら事務局にお知らせください。

○ 同じコースを持っている人のネットワークが必要。お互いの意見交換の場が必要。

○ 2年目の道民カレッジ、益々意欲に燃えています。共に学ぶ（カレッジ）仲間も増えて大変嬉しいです。スクーリングも仲間と計画しています。

* 道民カレッジの学生数が1万人を越え、学生同士の交流が望まれています。事務局では、平成15年度から学生同士のネットワーク組織について検討する予定です。

○ スクーリングを土曜日・日曜日に実施してほしい。スクーリングの科目を2～3回実施し、道央・道東等に分けて実施してほしい。

○ スクーリングの回数を多くして、近くでもやってほしい。

* 平成15年度は全道10会場でスクーリングを予定しております。開催地につきましては、希望市町村を募集したうえで夏頃決定いたします。開催日時につきましては、開催市町村と協議して、学生の皆様が受講しやすい時間に実施するよう努めて参ります。

■スクーリング日程

当別町 10月18日(金)

- テーマ 「自然景観」と人づくり、地域づくり
- 講師 北海道情報大学
井野 智 教授
- 会場 当別町総合福祉センター「ゆとろ」
- 参加 80人



上磯町 11月27日(水)

- テーマ 「遺跡保護」と人づくり、地域づくり
- 講師 札幌大学
木村 英明 教授
- 会場 上磯町総合文化センター(かなで〜る)
- 参加 88人



釧路市 11月 9日(土)

- テーマ 「水辺林」と人づくり、地域づくり
- 講師 北海道工業大学
柳井 清治 教授
- 会場 釧路市生涯学習センター
- 参加 5人



旭川市 1月25日(土)

- テーマ 「子育て」と人づくり、地域づくり
- 講師 北海道浅井学園大学
山谷敬三郎 教授
- 会場 旭川市民文化会館
- 参加 63人



蘭越町 11月10日(日)

- テーマ 「子育て」と人づくり、地域づくり
- 講師 北海道浅井学園大学
山谷敬三郎 教授
- 会場 蘭越町山村開発センター
- 参加 62人



長沼町 2月 3日(月)

- テーマ 「自然景観」と人づくり、地域づくり
- 講師 北海道情報大学
井野 智 教授
- 会場 長沼町民会館
- 参加 100人



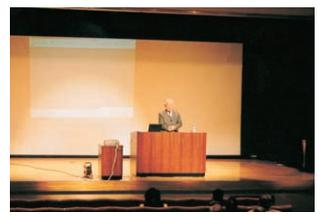
羽幌町 11月20日(水)

- テーマ 「水産資源」と人づくり、地域づくり
- 講師 北海道東海大学
西山 恒夫 教授
- 会場 羽幌町中央公民館
- 参加 68人



乙部町 2月 8日(土)

- テーマ 「水産資源」と人づくり、地域づくり
- 講師 北海道東海大学
西山 恒夫 教授
- 会場 乙部町公民館
- 参加 116人



厚真町 11月21日(木)

- テーマ 「遺跡保護」と人づくり、地域づくり
- 講師 札幌大学
木村 英明 教授
- 会場 厚真町総合福祉センター
- 参加 36人



札幌市 2月24日(月)

- テーマ 「8020運動・健康日本21」と人づくり、地域づくり
- 講師 北海道医療大学
平井 敏博 教授
- 会場 かでの2・7大会議室
- 参加 196人



カレッジだより

平成15年 3月発行

編集・発行 道民カレッジ事務局
財団法人 北海道生涯学習協会
〒060-0002
札幌市中央区北2条西7丁目かでの2.7ビル9階
TEL(011)231-4111(内線36-343) FAX(011)281-6664
URL <http://www.hsgk.jp/college/>